



関沢小だより



校長 関口 循子

包括的セクシュアリティ教育について

42日間の夏休みは、「長いようで、短かった」でしょうか？きっと充実していて、もっと続けばいいなあ～と子供たちは、名残惜しくなってしまったのではないのでしょうか？少し、朝起きることがつらいかもしれませんが、「早寝、早起き、朝ごはん」で、生活リズムをつかみ元気に2学期のスタートを切れるよう、ご家庭でもバックアップをお願いします！！

さて、1学期の修了式に、「パリ・オリンピック」のクイズを子供たちに出しました。市民がオリンピックに参加したり、SDGsの視点で運営されていたり、工夫がたくさんのおリンピックでした。また、女子ボクシングでセクシュアリティが大きく取り上げられていたことも、印象に残る大会でした。

毎年、西中・針ヶ谷小と本校とで3校合同研修を行っていますが、今年は「包括的セクシュアリティ教育」を研究しています。この研究は、富士見市教育委員会からの委嘱を受けて実践していますが、各校で夏休み中に時間を取り、それぞれの学校の実態を踏まえて授業計画を立てていました。そして、8月23日（金）に埼玉大学ダイバーシティ推進センターの渡辺大輔准教授にご講演いただき、3校の教員が集まって話し合いを深めました。

私たち教職員にとって長期休みは視野を広げ学びを深める期間であるとともに、同時に近隣の学校同士が集まり一緒に学んでいくことで共通理解を図ることもでき、とても重要な研修です。

「包括的セクシュアリティ教育」とは、身近なところという「性教育」の分野です。8つのキーコンセプトがあります（ユネスコ 2009年、2018年改訂）。

1 人間関係	2 価値観・人権・文化・セクシュアリティ
3 ジェンダーの理解	4 暴力と安全確保
5 健康とウェルビーイング	6 人間のからだと発達
7 セクシュアリティと性的行動	8 性と生殖に関する健康

これまでの性教育

「性教育」といわれるものは、6・8の部分が強かったそうです。そして、日本は、「セクシュアリティ教育が貧困な国」ということも今回の研修で知ったことです。しかし、この領域は親子関係の中でなかなか触れづらい領域ではないでしょうか？

『「包括的」とは、相互の尊重と平等に基づく愛や人間関係のようなポジティブな側面も含む形でセクシュアリティを提示する機会の提供』とあります。最終的に、「自分も友達も大切にする」「自己決定して進んでいく」「いのちを大切にする」児童の育成ととらえています。

小学校の6年間の学びの中で、どのように力をつけていくか、学校の役割や家庭の役割などそれぞれが相互的にかかわり児童をよりよく育てていけるよう、取り組んでまいります。学年や学級で関連の取り組みもあるかと思しますので、どうぞご協力をお願いいたします。

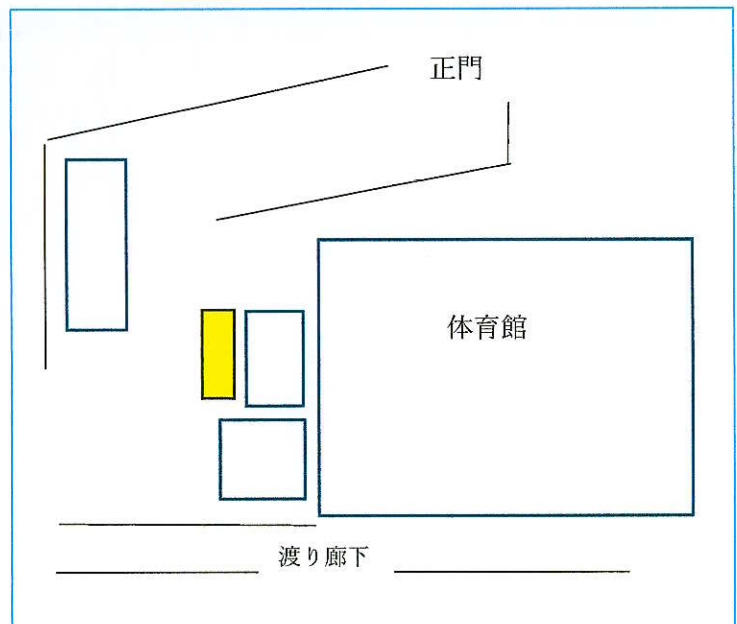
※3 校合同研修会の様子



関沢小学校体育館の空調工事が無事に終了しました。ご協力ありがとうございました。2学期もまだまだ暑い日が続きます。子供たちが活動しやすいように、授業や行事等で活用していきます。

また、体育館空調の室外機設置に伴い、体育館前の自転車置き場がなくなりました。自転車は、既存の自転車置き場か、体育館空調の室外機の前（右図黄色のところ）に整頓しておいてください。そのほかの場所に置きますと、児童や自動車等の通行の邪魔になりますので、撤去させていただく場合があります。

また、そのことによる破損や盗難等には、学校では対応しません。必ず指定された場所において、施錠をしてください。放課後は、校舎前たたきの校庭寄りに並べて置くこともできます。場所に関りがあるので、できる限り徒歩でご来校ください。ご協力をお願いします。



<スクールカウンセラー学校来校日>

お子さんについての相談・お悩みがありましたら、気軽にご相談ください。

2学期は9月24日（火）、10月22日（火）、11月19日（火）、12月17日（火）を予定しています。面談をご希望の際は、学校までお問い合わせください。